

平成25年度 年間行事予定表 天台宗 東園寺

3月20日(水)	春彼岸戦没者慰霊祭 平成25年度仏参金受付	10時～11時 9時～17時
4月24日(水)	子育て地藏尊大祭 厄除け・子育て護摩厳修・オカリナ演奏会	10時～12時
6月 5日(火)～7日(木)	先祖供養団参 (世界文化遺産中尊寺・東松島市仮設住宅住民との交流会)	
8月 7日(水)	新盆施餓鬼供養	11時～12時
8月16日(金)	お盆墓参り 平成25年度仏参金受付	9時～17時
9月19日(木)～20日(金)	諏訪明神大祭	
9月23日(月)	秋彼岸墓参り 平成25年度仏参金受付	9時～17時
11月 3日(日)	お会式	11時～12時
12月31日(火)	除夜の鐘	23時～元旦1時

観音堂再建基金寄附者芳名

平成24年12月吉日	渡辺博泰殿10万円 大森丈憲殿30万円
平成25年 2月吉日	天野賢吉殿30万円
平成25年2月末日までの積金	790万円



仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東園寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

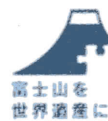
忍野支店 口座 普通 121086 東園寺

今年も八海・新名庄川の清掃活動を行います。

清掃活動を続けて、7年目に入りました。

今年も毎月8日に清掃・除草活動を行います。天候などで変更する場合は事前に

連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。



癸巳年を迎えて
今年、癸巳年です。新聞や雑誌・テレビなどでは数十年に一度の縁起のよい年だと言われ、各界より多くの方々の今年に寄せる期待が報じられています。巳年は十二年に一度巡りくるわけですが、癸巳年は六十年に一度です。癸という字は「北の方角にて水を司る」という意味です。巳は蛇のことで、『癸巳』とは「水を司る蛇」つまり「龍神」と考えて良いでしょう。まさに忍野八海は富士山頂から見て北の方角にあたり、八海には「八大竜王」が祀られています。忍野八海が富士山文化遺産として羽ばたくにはとてもふさわしい年といえるでしょう。忍野八海が沈滞化した忍野村を元気づけてくれる吉祥として期待されるわけです。日本だけでなく、韓国、北朝鮮、アメリカ、ロシアなど世界中が変革してきています。忍草においても旧習を見直し、活気ある新しい部落となるようみんなで力を合わせていきましょう。美しい自然と先祖伝来の意義ある文化・伝統は、いい形で子孫に残したいものです。

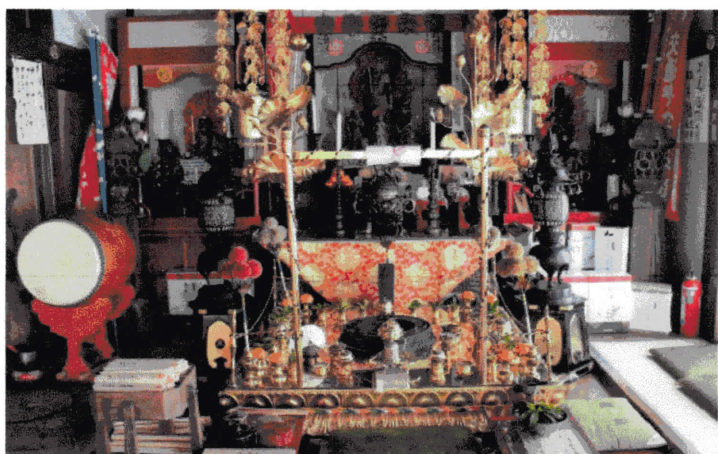
初不動尊大祭 交通安全・厄除け祈願祭

～1月28日～



お護摩の様子

今年も恒例の初不動尊祈願祭が、1月28日、盛大に行われました。交通安全祈願の他、家内安全・入試合格・商売繁盛など併せて祈願の護摩を焚いて祈りました。富士吉田警察署長さんをはじめ、交通安全協会の役員さんなど多くの檀信徒の方々がご参拝下さいました。護摩木を焚く炎は不動明王の背後にある迦桜羅炎（かるらえん）に見えてくるから不思議です。迦桜羅炎（かるらえん）とは、毒なるものを焼き尽くすといわれています。不動明王の真言と力強い太鼓の音を耳にしているとすべての悪い物を払っていただけるパワーを感じます。



東円寺本堂 不動明王像 3尊あります。

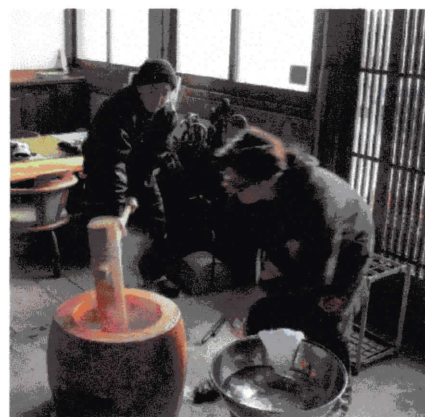
東円寺の不動明王（富士山鈴原目黄不動尊）

東円寺のお不動様は、江戸時代までは、富士山の一合目、鈴原大日堂に安置されていました。明治の廃仏毀釈の時に富士山より下ろされました。不思議な夢によって導かれ、東円寺に祀られることになりました。古来より、富士修験者や富士講の人々に信奉されてきた霊験あらたかな「富士山のお不動さん」です。その他「海沢不動尊」、「富士見不動尊」と、計3尊のお不動様がお守りくださっています。

年末恒例 お餅つき

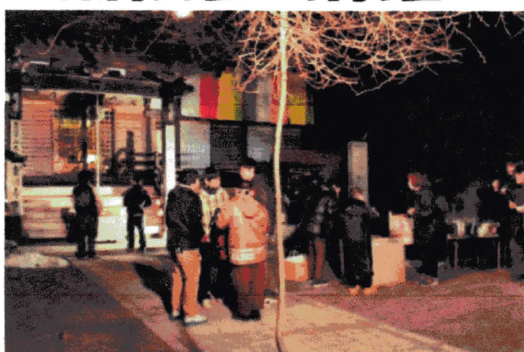


12月29日は、東円寺のお餅つきの日です。今年も、賑やかに恒例のお餅つきを行いました。お盆や正月は共に収穫を感謝し豊穡を祝う為の「先祖祭り」です。ご先祖様に感謝しながら、檀家の皆様の苦を祓い、新しい年がよい年となるよう祈りをこめて毎年お餅をついています。



大晦日除夜の鐘

12月31日～1月1日



新しい年に日付が変わる頃、たくさんの方が「除夜の鐘」を撞きに来られました。人間には、108の「煩惱」があるといわれています。「煩惱」とは、人の心を惑わせたり、悩ませたり、苦しめたりする心の働きの事をいいます。鐘の音は仏の清らかな声、仏の教え、その力強い鐘の音とともに、煩惱をきれいに洗い落として、清らかな心で新年を迎えます。

寒さに負けず、風邪をひかないようにお寺では、毎年あたたかい、けんちん汁と甘酒を用意しています。

世界遺産中尊寺先祖供養と東日本大震災を学ぶ旅

檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。恒例の先祖供養団参ですが、今年は下記日程にて行います。毎年比叡山で行っている先祖供養は、今年は世界文化遺産の平泉中尊寺にて行います。中尊寺は天台宗の東北大本山です。貫首の山田大僧正は私の旧知という関係から、先祖供養については、快くお引き受けしていただきました。又、東日本大震災の被災地、東松島市の仮設住宅を訪問し、天台宗万宝院のご住職様より震災の体験談を話していただき、被災者との交流会を計画しました。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。



記

1. 月 日 平成25年 6月5日(火)～7日(木)

2. 旅 費 55,000 円

3. 旅 程 ※詳細についてはお問い合わせください。

6/5(水) 出発東円寺[〓]河口湖[〓] | C[〓]休憩[〓]白石 | C[〓]白石[〓]温麺茶屋[〓]日本こけし館[〓] | 鳴子[〓]観光ホテル[〓]
6:00

6/6(木) 鳴子[〓]観光ホテル[〓]古川 | C[〓]中尊寺[〓]金色堂[〓]和風割烹春日[〓] | 巖美[〓]大和 | C[〓]
〓東松山[〓]仮設住宅訪問・交流会[〓] | 松島[〓]一の坊[〓]

6/7(金) 松島[〓]一の坊[〓] | 五大堂[〓]瑞巖寺[〓] | 磐梯郡[〓]山店[〓]郡山 | C[〓]休憩[〓] | 安積PA[〓]

〓休憩[〓]大谷PA[〓] | 〓休憩[〓]蓮田SA[〓] | 〓鶴ヶ島JCT[〓] | 〓河口湖[〓] | C[〓]解散東円寺 18:50 予定

寺庭のつばやき

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして、温かなご支援ありがとうございます。東円寺だよりに記載いたしましたが、今年の除夜の鐘は、法嗣(ほっし)が読経を唱える中、鐘を撞くことが出来ました。読経を合図に鐘を撞く情景は、とても厳かです。今年も大勢の方にお参りいただきました。ありがとうございました。

先日、天台宗から発行されている天台ジャーナルという新聞に、「寺を減らしてはいけない」という記事が載っていました。簡単に紹介させていただきます。『昨年ふたつのことが「5万」を越えた。ひとつは百歳以上の人の数、もう一つはコンビニの店舗数』だそうです。『日本の仏教寺院は、「コンビニの数より多いのに、もっとしっかりして」と、皮肉られたりもしているが、現在7万7千カ寺で、この数字は50年前とは大きく変わっていない。しかし、ひとりの住職が複数のお寺を兼務するようになり、実質的な活動ができていない寺院数を勘案すると「5万」台に。これは減少しているのではないか、という見方もできる。』と書いています。『「寺の減少」について、要因は多岐だが、こういう状況を受けて、「10年後はともかく20年後には果たしてどれだけ残っているのか」という事さえ言われている。』と書かれていました。

この記事は仏教ジャーナリストが書いています。寺の減少の要因について、お寺を護寺する人が減っていると。「核家族化」や「高齢化」によって、お墓参り、また、仏壇の前で手を合わせる習慣がなくなりつつあると言っています。「寺を減らしてはいけない」社会状況なのである。』と文章が結んであります。

東円寺においては、お彼岸やお盆のお墓参りには、老若男女問わず、多くの方がお参り下さっています。このような状況が未来につながっていくためにも、檀信徒の皆さんのお手本となるよう、日々精進してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

子育て地蔵尊大祭のご案内

～オカリナ演奏会♪～



毎年4月24日は東円寺の子育て厄除地蔵の縁日です。東円寺の子育て地蔵（石像）は正徳元年（1711年）に忍草部落の善男善女により奉納されました。今年も地蔵供養の後でチャリティーバザーやオカリナの演奏会を開催します。多くの皆様のご参拝をお待ちしております。

□日 時 4月24日（水）

10:00～11:00 開運厄除け護摩祈禱

11:15～12:15 オカリナ演奏

♪オカリナ奏者 さとうともしん

□場 所 東円寺境内（雨天の場合は本堂）

○チャリティーバザー

※収益金は忍野図書館と東日本大震災の義援金として寄付させていただきます。

○お茶会



願掛け前掛け

お地蔵様の願掛け前掛けを作りました。皆さんにお願いをして作っていただいた手作り前掛けです。願掛けの護摩木・前掛け・お守りはセットで1000円です。前掛けだけ、お守りだけなどは、500円です。願掛け前掛けをお地蔵様へ奉納しませんか。



祈願文例

安産祈願・子授祈願・子孫繁栄・無病息災
心身健康・病氣平癒・開運招福・家内安全
厄難消除・恋愛成就・学業成就・良縁成就

東円寺法嗣の法名が変わりました

お寺の継承は昔から師匠より弟子へと受け継がれていきます。明治以後は僧侶も妻帯が許されて、多くの寺院では、親から子へと住職が受け継がれていますが、その場合でも、親は師匠であり、子は弟子となっています。また、正式にそのお寺の継承者（法嗣）となった場合は、それぞれのお寺には血脈（そのお寺に代々伝わる法名のこと）とあって、弟子は師匠の一文字を受け継いでいきます。東円寺においては、先々代の慈廣より慈円、慈誠、と『慈』の一文字が血脈として継承されています。この『慈』は先々代の慈廣和尚が、滋賀県の成菩提院で修行した時に、師匠より受け継ぎました。元を辿ると、徳川家康の知恵袋といわれた慈眼大師天海大僧正よりの由緒ある血脈です。

この度、比叡山延暦寺より東円寺の弟子に対して、「慈法」の法名が許されました。その後、甲府地方裁判所都留家庭裁判所の手続きを経て、平成25年2月22日に「慈法」となりました。

忍草の地にとけ込み、東円寺の後継者としてお寺をお守りできますよう、檀信徒の皆様の暖かなご支援をお願い申し上げます。